

令和5年度 村づくり検討委員会 現地視察を開催しました

【メンバー構成】～あいうえお順～

- ・青木 連
- ・加藤 哲夫
- ・小林 俊夫
- ・斎藤 絵美里
- ・中村 勝也
- ・中村 周子
- ・宮崎 純平
- ・山根 沙姫

～経過～

令和5年3月下旬に行った村づくり検討委員会で、今後の検討委員会のあり方について再度検討を行いました。話し合いの結果、村主導のイメージではなく、検討委員の皆さんが自主的な活動・検討ができるような委員会の形とする方向性で決まりました。

その結果、令和5年度のリーダーに宮崎純平さん、副リーダーに小林俊夫さんが選出され、今後はリーダーを中心に委員の皆さんが自主的な活動を行っていき、行政はそのサポートをしていきます。



～令和5年度の活動について～



令和4年度の村づくり検討委員会で、

- ・昔の遊び場は、神社だった。そんなことから歌舞伎に興味を持つのでは

- ・塩の里周辺から市場神社の整備をしたらどうか。
- ・神社は定期的に掃除などしている。お祭り等もあるが、一般の人までは集まらない。

- ・人が集まれば歌舞伎や、地域への興味、関心が集まってくる。

といった意見が出ました。

そこで令和5年度はまず【市場神社を中心とした賑わいづくり】に取り組んだらどうか。と決まり、4月10日教育委員会北村さん、氏子総代丸山憲二さんに参加いただき実施しました。

～市場神社での現地視察～



- ・新たに建物を建てるのではなく、「今ある物」を活かしていく。
- ・歌舞伎舞台の開放は今のところ考えていない。
- ・神社や歌舞伎の歴史を子どもたちが理解できるような仕組みをつくり、歌舞伎への親しみを感じてもらう事で、大鹿歌舞伎の後継者育成につなげたい。
- ・検討委員会から子ども達に神社で遊ぶよう宣伝するのではなく、子ども達が集まりやすい、遊びやすい環境を整える。
- ・夏祭りなどのイベント開催時には、第2会場として神社でイベントを実施してはどうか。
- ・花火打ち上げ用の筒など、歴史的な価値があるものを展示してはどうか。

※子どもが直接触れることができる状態での展示

○神社の考え

- ・神社が子ども達の遊び場となることは、悪いことではないと考えている。
- ・総代会で確認する必要がある。

○要検討事項

- ・神社には石灯籠など危険な物があるため、危険個所の事前対応が必要。
- ・神社での怪我や、子ども達による物損の対応について、事前の検討が必要。



○環境整備（案）

- ・Wi-Fi テーブル ベンチの設置 ※歌舞伎の時には移動できるもの。
- ・QR コードを利用し、神社や展示品の説明をスマートフォンで閲覧できるようにする。
- ・塩の里から市場神社までの遊歩道を整備する。アスファルトの道ではつまらない。



○今後の課題

- ・教育委員会等で把握している歌舞伎や神社の歴史を、誰でも観光客等に説明できるように、記録に残す必要がある。
 - ・検討委員会で現地視察を行う際には、各自で竹ぼうきなど掃除用具を持参し、村をきれいにしながら話し合いをしたらどうか。
- 上記のような意見や検討事項がでました。次回以降はこの内容について具体的な検討を行っていきます。



